

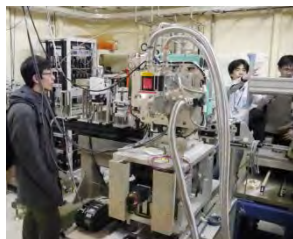
## 理研 SPring-8見学 報告

## 見学の評価

5:大変勉強になった

## 見学内容

- ・田中専任研究員よりSPring-8全体説明
- ・渡辺さんより蓄積リング収納部説明
- ・大石主幹研究員、田中専任研究員  
池本副主幹研究員、加藤専任研究員  
より現場で実験施設の説明
- ・SACLA実験棟の見学



SACLAとSPring-8が繋がれば、もっとたくさんの方が、もっと小さな世界を見ることが出来ます。



日時:2月22日(月) 13時~16時

参加:履修生3名、基礎工B2、B3 それぞれ2名ずつ

## 見学の感想

・ただ施設を見学するだけでなく放射光のしくみからspring8独自の点などを理解することができた。実際に電子が流れている部分は数十センチ程度のアルミでできており意外と小さかったのが印象的であった。また直田研究室の超音波応答性ゲルの構造解析など行いたいと思った。

・よく他のカデット生の発表にも登場するスプリング8であり、講座を通して簡単な概要はわかっているつもりであった。しかし、説明を聞きながら実物を見るとその技術力と高さ、多くの研究者に重宝されている実情をつかむことができ、大きく異なった側面を見出すに至った。特に、研究者の活躍はもとより、スプリング8を支える技術者たちの存在に感銘を受けた。

・前半のスプリング8の内部構造の見学までは、技術的なことまで詳細な説明を聞くことができ非常に有意義で興味深かった。一方、後半のビームラインでの各研究内容の説明は、歩き疲れていたのもあるが、限られた時間の中で連続して素人目には似たように見える装置をいくつも見るのはやや辛かった。休憩とはいわないが見学の途中で座学的な説明の時間があっても良かった。

## &lt;学部生からのコメント&gt;

・もはやこの設備を作ったこと自体がすごいです。設備を作ったきりではなくグレードアップしていることも初めて知って感動しました。

カデットプログラムは興味あります。一回生の始めの方で全体の集まりで紹介されて以来ずっと気になってはいます。

・第一印象として、「圧倒された」という印象を抱きました。山奥に位置し、普段見ないような機材が立ち並ぶ非日常的な空間を見学することは非常に興味深かったです。

博士課程後期まで履修する意志がないため、カデットプログラムへの応募は考えていません。プログラムそれ自体は面白いものだと思っています。

・加速器に関する設備を実際目で見たのは初めてだったので、実際とても迫力があり、すごかったです。研究者としてSPring-8で実験するのも楽しそうですが、あの設備自体を設計したり、整備したりするのも楽しそうだと思います。

カデットプログラムについては興味があります。また同時に阪大の超域イノベーション博士課程プログラムにも興味があるので、それとの違いをもっと詳しく知りたいと思っています。